

第13回 大阪市立大学 教育改革シンポジウム

初年次教育とは何か ～学士課程における必要性と効果～

大学のユニバーサル化が急速に進み、多様な入学学習動機・学力を持つ学生の大学生活への移行と彼らに対する教育成果の確保が、学士課程教育の重要な課題となってきています。

本学においても全学的に初年次教育が検討されることとなり、教務委員会の下に初年次教育検討委員会が立ち上げられました。今後検討を進めていく際の、初年次教育に関する基本的知識・事項の共有化にも役立てられるよう、今回は、初年次教育に関するご講演をお願いすることといたしました。

初年次教育とはそもそも何か？なぜ必要なのか？実施することによってどのような効果があるのか？初年次教育についての今後のあり方を考えるきっかけになればと思います。

講師には、日米の初年次教育に関する調査研究を実施されており、初年次教育研究および推進に関する第一人者でいらっしゃる濱名篤先生をお迎えします。

皆さまには、万障お繰り合わせの上、宜しくご参集下さいますようお願い申し上げます。

大阪市立大学 大学教育研究センター

記

題 目	: 「初年次教育とは何か ～学士課程における必要性と効果～」
講 師	: 濱名 篤 先生 関西国際大学 学長
日 時	: 2006年10月5日(木) 午後3時～5時
場 所	: 学術情報総合センター1階文化交流室
司 会	: 西垣 順子 大学教育研究センター助教授 飯吉 弘子 同 講師

以 上

【講師略歴】

1956 年生まれ。

関西国際大学 学長・学校法人濱名学院 理事長

1987 年 上智大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得。

2004 年 博士（社会学）

関西国際大学人間学部教授、同大学高等教育研究所所長

初年次教育研究開発センター長、副学長を経て

2005 年 4 月より現職。

専門：教育社会学・高等教育論

- ・ 国立教育政策研究所主催の「初年次教育に関する公開研究会」講師等、数多くの初年次教育関連セミナーの講師をつとめている。
- ・ 関西国際大学では、学長の強いリーダーシップの下、学士課程教育のプログラム開発が進められており、その中における初年次教育プログラム開発にも積極的に取り組み、次の GP に採択されている。

平成 16 年度の特徴 GP「大学のユニバーサル化と学習支援の取組」

平成 18 年度の特徴 GP「初年次教育の総合化と学士課程教育への展開」

平成 18 年度の現代 GP「大学、住民及び行政等の協働と地域活性化～シニア学生受け入れモデルとサービスラーニングの開発～」

【研究活動】

日本高等教育学会理事

大学教育学会常任理事

日本私立大学協会附置 私学高等教育研究所研究員

国際日本文化研究センター客員教授

国立教育政策研究所客員研究員

大学教育学会 初年次教育・導入教育研究委員会代表

【関連参考図書】

濱名篤・川嶋太津夫編『初年次教育～内容・方法と国際的動向』丸善、2006 年（近刊）

以上